

# 青森県飼料作物奨励品種一覧表

## 1 牧草

草種	品種名	早晩性	品種特性等	指定年次
イネ科牧草				
オーチャードグラス	アキミドリⅡ	極早生種	採草放牧兼用（高標高地を除く）。	平成14年
	はるねみどり	早生種	1番草の収量が多い。採草放牧兼用。	平成23年
	ハルジマン	晩生種	1番草の収量が多い。採草放牧兼用。	平成18年
	まきばたろう	晩生種	夏期の生育が旺盛。採草放牧兼用。	平成23年
	バッカス	晩生種	1番草の収量が多い。採草放牧兼用。	平成26年
チモシー	クンプウ	極早生種	秋の生育良好。採草用。	昭和61年
	ユウセイ	極早生種	収量が多く、耐倒伏性に優れる。採草用。	平成26年
	ホライズン	早生種	草丈が高く、収量が多い。採草用。	平成23年
	ノサップ	早生種	再生力が旺盛で収量が多い。採草用。	平成5年
	アルテミス	中生種	草丈が高く、収量が多い。採草用。	平成30年
	クライマックス	中生種	葉長、葉幅が大きい。採草用。	昭和44年
	アッケシ	中生種	斑点病抵抗性が強い。採草用。	平成11年
	ヘリオス	中生種	収量が多い。採草用。	平成30年
	キリタップ	晩生種	耐倒伏性に優れる。採草用。	平成11年
イタリアンライグラス	ナガハヒカリ	中生種	耐雪性が極めて強い。採草用。	平成8年
トールフェスク	ホクリョウ	晩生種	多葉性である。採草放牧兼用。	昭和50年
ペレニアルライグラス	ヤツカゼ2	中生種	早春早期利用に適し、夏期の生育が旺盛。採草放牧兼用。	平成23年
	フレンド	晩生種	耐雪性が強い。採草放牧兼用。	昭和50年
	ヤツユメ	晩生種	夏期の収量が多い。放牧用。	平成28年
メドウフェスク	まきばさかえ	早生種	越冬性に優れ、早春の生育が良好。放牧用。	平成28年
フェストロリウム	東北1号	早生種	収量が多く、永続性に優れる。採草用。	平成26年
ケンタッキーブルーグラス	ラトー	早生種	収量が多く、越冬性、耐病性に優れる。放牧用。	平成26年
リードカナリーグラス	パラトン	早生種	草生密度が高く、雑草の侵入が少ない。刈遅れにより嗜好性が低下するため、1番草は出穂期までに刈り取る。	平成20年
マメ科牧草				
アカクローバ	ナツユウ	早生種	オーチャードグラスの晩生品種、チモシーの極早生・早生品種との混播に適する。	平成25年
	リョクユウ	早生種	オーチャードグラスの晩生品種との混播に適し、永続性に優れる。	平成28年
シロクローバ	フィア	早生種	葉は密生し、再生力に優れる。放牧用。	昭和44年
	マキバシロ	早生種	イネ科との混播適性が高い。	平成5年
アルファルファ	ケレス	早生種	耐病性、永続性に優れる。採草用。	平成26年
	ウシモスキー	早生種	収量が多く、耐病性、永続性に優れる。採草用。	平成30年

## 2 サイレージ用とうもろこし

品種名（系統名）	早晩性	適当な栽植密度	品種特性等	指定年次
おおぞら（北交55号）	極早生種	8,000本/10a	長稈で収量が多く、紋枯病に強い。	平成18年
パイオニア100日（P9400）	早生種	7,000本/10a	長稈で収量が多く、耐病性、耐倒伏性に優れる。	平成27年
パイオニア106日（36B08）	早生種	7,000本/10a	短稈で収量が多く、耐病性に優れる。	平成15年
ロイヤルデントTH472（TH472）	早生種	7,000本/10a	長稈で収量が安定している。すす紋病の発生しない圃場限定。	平成20年
スノーデント110（LG3520）	早生種	7,000本/10a	長稈で収量が多く、紋枯病に強い。	平成21年
スノーデント108（LG3490）	早生種	7,000本/10a	長稈で収量が多く、紋枯病に強い。	平成23年
パイオニア108日（34N84）	早生種	7,000本/10a	収量が多く、耐倒伏性に優れる。	平成23年
北交65号（北交65号）	早生種	7,000本/10a	収量が多く、耐病性に優れる。	平成26年
ゴールドデントKD550（KE8500A）	早生種	7,000本/10a	安定した収量で、耐病性、耐倒伏性に優れる。	平成26年
きみまる（北交72号）	早生種	7,000本/10a	収量が多く、耐病性に優れる。	平成28年
パイオニア110日（P0640）	早生種	7,000本/10a	雌穂割合が高く、長稈で収量が多い。	平成30年
パイオニア115日（P1690）	中生種	6,000本/10a	収量が多く、耐病性、耐倒伏性に優れる。	平成27年
パイオニア118日（P2088）	中生種	6,000本/10a	長稈で収量が多く、耐病性に優れる。	平成28年
クミアイデント118N（GN1645）	晩生種	6,000本/10a	安定した収量で、耐病性、耐倒伏性に優れる。	平成19年
サイレージコーンNS127（KE7750）	晩生種	6,000本/10a	茎葉収量が多いため、肉用繁殖雌牛への給与に適する。	平成25年
パイオニア126日（32F27）	晩生種	6,000本/10a	雌穂割合が高く、収量が多い。	平成26年
タカネフドウ（長交C980）	晩生種	6,000本/10a	耐倒伏性に極めて優れる。	平成29年

## 3 その他飼料作物

草種	品種名	早晩性	品種特性等	指定年次
エン麦	前進	中生種	短稈で、子実が多い。サイレージ用。	昭和44年
	アムリⅡ	中生種	耐倒伏性に優れる。サイレージ用。	平成18年
	ニューオールマイティー	中生種	耐倒伏性に優れる。サイレージ用。	平成18年
ライ麦	春香	晩生種	収量が多く、耐倒伏性に優れる。	平成23年
飼料用稲	えみゆたか	早生種	冷涼地帯で玄米収量が多く、いもち病抵抗性に優れる。飼料用米向け品種。	平成28年
	うしゆたか	中生種	茎葉収量が多く、倒伏抵抗性は極めて強い。WCS向け品種。	平成20年
	みなゆたか	中生種	玄米収量が多く、障害型耐冷性は極めて強い。飼料用米向け品種。	平成21年